

うらじぬの ファーストサマーウイカ

齊藤広大 中井友望

大下ヒロト 中山求一郎 當山美智子 南久松真奈

大中西裕 千綿勇平 桜井鉄也 夏 定森安南

山本彩実 影山徹 あやかんぬ 国海伸彦 清水てつべい 宗嗣弟

山田果歩 林周雅 服部大成 坂口彩夏 岡田優 財田ありさ 野田佳代 湊さやか

脚本・監督：ふくだももこ

原作：西加奈子「炎上する君」(角川文庫/KADOKAWA)

劇中歌：ゆっきゅん「DIVA ME」 エンディング曲：ゆっきゅん「NG」 音楽：池永正二(あらかじめ決められた恋人たちへ)

撮影：平見優子 照明：加藤大輝 録音：原川慎平 美術：黒羽陽子 小道具：廣川千都

編集：山本彩加 スタylist：江森明日佳ヘアメイク：花村枝実 音響効果：井上京津子 助監督：土橋沙由里 制作担当：比良岡弘雅 監督補：坂口彩夏 スチール：水津哲一郎

エグゼクティブプロデューサー：本間憲 企画・プロデュース：菊地陽介 プロデューサー：栗原祐一 ラインプロデューサー：渡松幸一

企画協力：小林剛 風間智恵子(株式会社KADOKAWA) 宣伝：平井万里子、矢部紗幸香 宣伝デザイン：高畑美月

制作プロダクション：ダブ 製作：レプロエンタテインメント 配給：レプロエンタテインメント 配給協力：インターフィルム

2023年/日本/42分/カラー/5.1ch © LesPros entertainment

Twitter : https://twitter.com/Enjyo_Movie

Instagram : https://www.instagram.com/you_are_lit_movie/

HP : <https://enjyo.lespros.co.jp/>



無様でも、もがいても、
君はかつこいい。

うらじぬの ファーストサマーウイカ

齊藤広大 中井友望

大下ヒロト 中山求一郎 當山美智子 南久松真奈

大中西裕 千綿勇平 桜井鉄也 夏 定森安南

山本彩実 影山徹 あやかんぬ 国海伸彦 清水てつべい 宗嗣弟

山田果歩 林周雅 服部大成 坂口彩夏 岡田優 財田ありさ 野田佳代 湊さやか

脚本・監督：ふくだももこ

原作：西加奈子「炎上する君」(角川文庫/KADOKAWA)

何度も現実に絶望する二人の女性が 世にも奇っ怪な「炎上する男」を探す シスターフッドムービー。

多彩な才能を発揮するふくだももこ監督が「世界中でわたしが一番撮りたいと思っている」と言い切ったのが、一度見たら忘れられない個性的な風貌と確かな演技力で映画やドラマにも多数出演するうらじぬの。そして、うらじぬのが最も魅力的に映る物語として選ばれたのが、ふくだ監督が敬愛してやまない作家・西加奈子が2010年に上梓した短編小説『炎上する君』。2023年現在にも通じる原作小説の先進性と普遍性を炙り出すシスターフッドムービーとなった。

おかつは頭の梨田の親友で、おさがトレードマークの浜中をファーストサマーウイカが演じ、普段とは異なるイメージで観客に強烈な印象を残している。物語のキーパーソンとなる「炎上する男」はオーディションで選ばれた齊藤広大。梨田と浜中の行きつけの銭湯で働く少女・トモにはミスiD 2019グランプリの中井友望、その銭湯の常連客には南久松真奈、トモのバンド

メンバーには大下ヒロト、中山求一郎、當山美智子、梨田と浜中がある行動をするきっかけとなる芸人に影山徹など、映画、演劇、ドラマで活躍する演技巧者が集まっている。

梨田と浜中が脇毛を見せながら踊り狂う劇中歌にはゆっきゅんの「DIVA ME」。さらに、物語の余韻に寄り沿うエンディングテーマには、同じくゆっきゅんの「NG」が起用されている。劇作は、『宮本から君へ』『味園ユニバース』『モヒカン故郷に帰る』など様々な日本映画を彩ってきた池永正二（あらかじめ決められた恋人たちへ）が務める。

本作を再編集した短編版はショートフィルムフェスティバル&アジア2023で、ライブアクション部門にノミネート、アジアインターナショナル&ジャパンプログラムでの上映に選出された。

私たちはいつも傷付き、絶望している。
けれど、私たちは唯一無二の親友だ。

高円寺の高架下。アップテンポなダンスチューンに合わせ、おもむろに脇毛を見せながら踊り狂う二人の女性・梨田と浜中。彼女たちは唯一無二の親友である。

高円寺の銭湯。「50代の男性と14歳の少女の真剣な恋愛」「政治家の女性蔑視発言」「医学部での女性受験者の一律減点」など、日々起こる女性への抑圧に二人は傷付き、憤る。ひょんなことから、二人は脇毛をたくわえ、ダンスをすることで自分たちを解放するようになる。誰のためでもない自分のために脇毛を生やし、晒す二人。

そんなある日、高円寺周辺ばかりに出没する「炎上する男」の噂を聞きつけた浜中。噂はどうやら真実味を帯びており、二人は一度でも目にしたいと好奇心を頼りに探し回る。ぼうぼうと足が燃える男。その男は、一体何者なのだろうか――。